

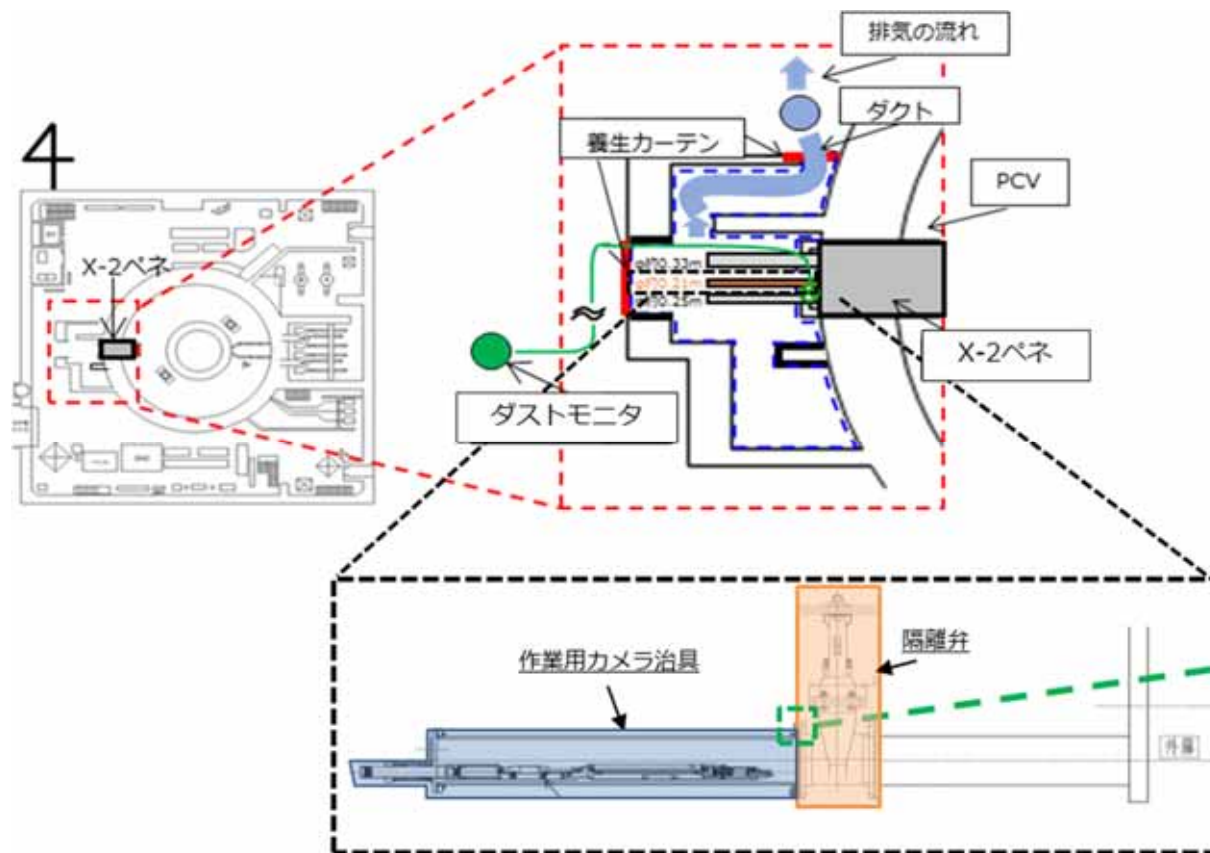
福島第一原子力発電所 1号機原子炉格納容器内部調査に向けたアクセスルート構築作業 原子炉格納容器内部干渉物切断作業の再開について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 9 月 3 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 1号機においては、原子炉格納容器（以下、PCV）内部調査に向けて、調査装置を挿入するためのアクセスルートの構築作業を実施しております。
- 8月26日午後6時頃、グレーチング下部鋼材作業前に作業用カメラ治具を隔離弁（孔径約21cmに設置）に取付後、当該隔離弁を開にしたところ、PCV圧力が低下傾向を確認したことから、隔離弁を閉にしたところ、PCV圧力が復帰（上昇）したことを確認しました。
(2020年8月27日お知らせ済み)
- その後、圧力が低下した原因について調査を実施したところ、隔離弁との接続箇所であるカメラ治具フランジの付け根部に割れがあることを確認しました。
- 本日（9月3日）、カメラ治具を予備品に交換するとともに、隔離弁開操作前の加圧リーク試験を実施する予定であり、リーク試験で漏れがないことを確認した後、明日（9月4日）よりグレーチング下部鋼材の切断作業を開始する予定です。
- 今後も作業にあたっては、ダストモニタでダスト濃度を適切に確認しながら、周辺環境に影響を与えぬよう、工程ありきではなく、安全を最優先に、慎重に進めてまいります。
- なお、PCV圧力低下に伴い、建屋内作業エリア、敷地境界モニタリングポスト、連続ダストモニタに優位な変動がないことを確認しており、外部への影響はありません。

【参考】フランジ部付け根の割れについて



フランジ部付け根の割れ (漏えい箇所)

